

オンライン研修会が終わりました

<テーマ>

「乳幼児期の遊びや生活と脳科学」

講師 小泉 英明 氏 プロフィール

物理学者・脳科学者

1971 年東京大学教養学部基礎科学科卒業 同年(株)日立製作所入社。

東京大学先端科学技術研究センター 先端研フェロー/ボードメンバー

日立製作所 名誉フェロー 日本工学アカデミーの上級副会長・国際委員長として

国際的にも活躍している。2008～2010 年 文部科学省「子どもの徳育に関する

懇談会」委員。ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラムの保育論文の審査員長

夏休みが明け台風の過ぎた土曜日の研修会でしたが、申し込みは200人を超え、リモート研修会は盛会に終わりました。講演の前に、参加者から事前にたくさんの質問をお寄せいただいていたように、幼児期の生活と遊びと脳科学の関連には大変興味をもって参加されていたようです。すでに1985年頃から生きたままの脳を測れるようになったというお話から始まり、脳科学から教育の重要性の根拠を明確にすることが可能になったということで、具体的な例を挙げての説明は、私自身大変学びが多かったです。特に脳科学から見た「感性と表現を育むポイント」は私たちが幼児教育で大事にしてきた直接体験の重要性を裏付けるお話でした。

今後皆さんからいただいたご意見ご感想をまとめ、後日ホームページにて配信して参ります。たくさんご著書があり、紹介していただきましたので、これを機に「脳科学」の視点から教育・保育を理解し語れるように学び直してしていきたいと思えます。

理事長 福井直美

